

JICA研修員が和歌山県で災害対策を学ぶ —南海トラフに備えた津波避難タワー、田辺西バイパスにおける斜面避難路、 稲むらの火の館を視察—

JICA 関西では、現在、10月17日から12月20日まで、研修「インフラ施設（河川・道路・港湾）災害対策とマネジメント」を実施しています。

本研修では、9か国から来たインフラ防災に携わるエンジニア10名が日本の防災対策技術を学んでいます。

今後30年間で70～80%の確率で発生すると予想されている南海トラフ地震。地震による津波被害が予想される和歌山県田辺市では、市内各所に津波避難タワーを建設するとともに、津波浸水想定区域を可視化したマップを作成し、平時より住民と共に避難訓練を実施するなど、ソフト・ハード両面での津波対策を行っています。

今回、研修の一環で、田辺市の津波避難タワーや新しく田辺西バイパスに設置された避難路の視察を行うことで、母国の防災対策技術の発展に役立てます。また「稲むらの火の館」を訪れ、過去の災害の経験を後世に伝えることの重要性を学びます。

以下の日程で、取材可能ですので、研修員へのインタビューと取材を是非ご検討ください。

参加研修員：9か国10名

（参加国：アルジェリア、インド、インドネシア、ガイアナ、セントビンセント、チリ、バングラデシュ、東ティモール、ホンジュラス）

取材可能日程：

- 12月9日（金） 10:45～12:30 田辺市役所にて災害対策についての講義
 12:45～13:15 芳養（はや）地区津波避難タワー視察（2019年3月完成）
 13:30～14:30 田辺西バイパス芳養井原地区斜面避難路を視察
 15:30～16:30 津波防災教育センター「稲むらの火の館」視察

※本講義・視察は和歌山県田辺市、国土交通省、稲むらの火の館の協力を得て実施します。



訪問予定の芳養地区津波避難タワー



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

—ご取材いただける場合は事前にご連絡ください。—

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 研修業務課 小川 和真

TEL 078-261-0386 e-mail : Ogawa.Kazumasa@jica.go.jp